

偶人节

摆饰古装玩偶以示祝贺

在日本，为了祝愿女孩子的健康成长和幸福，每年3月3日都要举行“偶人节”活动。相对于5月5日男孩子的节日“端午节”而言，

“偶人节”就是女孩子的节日了。它也叫做“女儿节”。在这一天，要摆饰古装玩偶、供奉桃花、彩色爆米花、菱形年糕、白酒等，还要吃散寿司、喝蛤蜊清汤以表示祝贺。

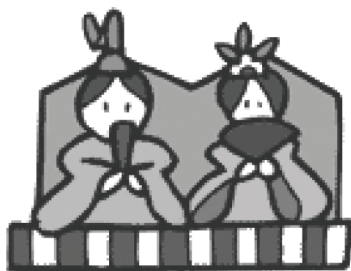


偶人节的历史

偶人节的历史可以追溯到距今1200年前的平安时代。那时候，中国有在3月3日那一天，到水边去洁身的习惯。这个习惯传到了日本，到了平安时代，演变成通过抚摸代替真人的、用纸或草扎的人儿，并借助将它们放入河海里的“放偶人”这一仪式，从而寄以那些纸人儿、草人儿将不洁之物带走的愿望。另外，在当时，孩子们中间有拿用纸扎的男、女玩偶来玩儿的“玩偶人”这种游戏。据说因为融和了这两种原因，从而构成了今天偶人节的原型。到了江户时代，才形成了现在这样庆祝偶人节的仪式。

最近倾向于贵族夫妇装束的玩偶

古装玩偶的摆饰有着一定的规矩。从2月中旬、最近也得从3月3日前一个星期起开始摆饰，而最好是一过3月3日，就将玩偶们收藏起来。因为，日本人有偶人越是收得晚，女孩子结婚也就越晚的说法。最近，由于住宅等方面的原因，似乎很多家庭都倾向于只摆饰男偶人或者女偶人的“贵族夫妇装束的玩偶”。



ひな祭り

ひな人形を飾りお祝い

日本では3月3日、女の子の健やかな成長と幸せを願って「ひな祭り」が行われます。5月5日の「端午の節句」が男の子のお祭りであるのに対し、「ひな祭り」は女の子のお祭り、「桃の節句」とも呼ばれます。この日には、ひな人形を飾り、桃の花、ひなあられ、ひしもち、白酒などをお供えし、ちらし寿司や蛤のお吸い物などのご馳走を食べてお祝いします。

ひな祭りの歴史

ひな祭りの歴史は、今から約1200年前の平安時代にさかのぼります。その昔、中国では、3月3日に水辺で身を清める風習がありました。これが日本に伝わり、平安時代になると人の代わりに紙や草の人形の体を作ることで穢れを人形に託して川や海に流す「流し雛」が行われるようになりました。また当時、子供たちの間では、紙で作った男女の人形で遊ぶ「ひいなあそび」が行われていました。これらが合わさって現在のひな祭りの原型が作られたといわれています。今日のようにひな祭りの行事をお祝いするようになったのは、江戸時代に入ってからです。

最近では内裏びな

ひな人形を飾るにも一定のルールがあります。2月中旬頃から遅くとも3月3日の1週間前に飾り始め、3月3日が過ぎたらなるべく早くしまいます。これは、ひな人形をいつまでも飾っておくと、結婚が遅くなると思われるからです。最近では住宅事情により男びな、女びなだけの「内裏びな」だけを飾る家庭も多いようです。